

平成 25 年度 事業報告

社会福祉法人 国立保育会

国 立 保 育 園

平成25年度事業報告

新保育所保育指針の更なる内実化に向けての取り組みを行った。

1. 施設運営

(1) 児童の処遇

ア クラス編成

全園児数は年間を通じ101名～102名だった。

クラス名	年齢	保育士数	園児定数	備 考
青組	5才	3	20	主任保育士 1
緑組	4才	2	20	障害児担当保育士 2
橙組	3才	2	20	パート保育士 3
桃組	2才	3	18	延長保育士 2
赤組	1才	4	13	フリー保育士 1
ひよこ組	0才	3	9	看護師 1
合 計		17	100	

イ 月別保育予日数

保育予定日数295日保育を実施した。

ウ 健康管理

全園児の健康診断を4月27日と10月26日に実施した。

0歳児健診を4/27、5/25、6/22、7/27、8/31、9/328、10/26、
11/30、12/21、1/25、2/22、3/22の12回実施した。

1歳児健診を4/27、7/27、10/26、1/25の4回実施した。

歯科検診を6月6日に実施した。

耳鼻科検診を5月29日に実施した。

眼科検診を6月6日に実施した。

歯科講話を12月19日に歯科医師と歯科衛生士により実施した。

口腔衛生指導を歯科衛生士により7月9日と11月27日に、2月12日は
年長児に実施した。

尿検査を5月9日に実施した。

ぎょう虫検査を5月9日に実施した。

身体測定を毎月 1 回実施した。

健（検）診について計画通りすべて実施した。

健（検）診のお知らせを事前に配布し、結果については「お知らせボード」に記載するとともに健康手帳に記録した。

看護師による「頭じらみ検査」や歯のブラッシング練習、うがい練習等を実施した。

新型インフルエンザの流行に対し、感染の拡大防止に努め、適切に対処した。日々、「お知らせボード」や玄関掲示板に貼りだして保護者に注意を喚起するとともに情報の迅速な周知に努めた。

保健衛生用器具の消毒の為、煮沸器を購入した。

園児の体力作りの一環として幼児クラスは外部講師による体育指導を毎週金曜日の午前に実施している。園児たちもとても楽しみにしている。

法人内四保育園の看護師会を年間 4 回実施して、最新情報の共有化を図った。

エ 保育内容について

園の保育理念園である「かけがいのない命をはぐくむ場」、保育方針として「心身の健全で調和のとれた育成に努力し、豊かな人間性を持つ子どもを育て、将来において親と子の真の幸福を期待することを目標とする」保育目標として

- ・ 友だちをたいせつにできる子ども
- ・ 生き生きとした子ども
- ・ 健康で心豊かな子ども

を掲げており、その実現のために保育計画を作成し達成に努めた。

- ・ 「保育方針」について第三者評価を受診して、保護者アンケートを実施した。アドバイスや意見について全職員で討議し改善をした。
- ・ 情操教育に力を入れるために、昨年度から、外部講師を招き「音楽・リズム」を毎月 2 回実施した。2 年目になり園児に定着してきた。

主な行事は下記のとおりである。

- | | | |
|-----|-------------|-----------------------|
| 4 月 | 4 日 | 入園式・始業式 |
| | 1 8 日 | こいのぼり掲揚式 |
| 5 月 | 8 日 | 誕生会 |
| | 1 4 日 | 年長児遠足(日光橋公園) |
| | 2 3 日 | 3．4 歳児遠足（小金井公園） |
| 6 月 | 2 日 | 人形劇団公演（ホール、地域の方も観劇した） |
| | 3 日 | 交通安全教室(立川警察署の担当官を招いて) |
| | 1 3 日～1 9 日 | 保育参観・懇談会週間 |

7月1日	食育集会
7月2日～8月23日	プール遊び
9月3日	災害時引き渡し訓練
12月	誕生会
10月5日	運動会
25日	秋の遠足、2歳児～5歳児（昭和記念公園）
11月14日	誕生会
28日	勤労感謝の集い（国立市ごみ減量化職員2名来園）
12月7日	お遊戯会
12月	クリスマス会
1月9日	もちつき大会
24日	おわかれ遠足（じぶりの森美術館、井の頭公園）
38日	幼児組お店屋さんごっこ
2月3日	豆まき
6日	誕生会
18日	いも煮会
10日～15日	乳児、クラス別保護者懇談会週間
17日～22日	幼児、クラス別保護者懇談会週間
3月3日	ひなまつり会
13日	年長児を送る会
23日	第56回卒園式

オ 栄養管理（食育活動）

栄養報告、献立表、給食提供に関する諸管理を計画通りに実施した。

アレルギー児用献立表を別に作成して、該当の保護者に確認を取り毎月配布した。

幼児3クラスは園庭やプランターを利用し、キュウリ、ナス、ピーマンを栽培した。

毎月、保護者に「給食だより」を配布し食育についての啓蒙に役立てた。

毎月、給食委員会を開き園長、主任、栄養士、保育士が出席し献立について反省、検討をした。

新入園児説明会、保護者懇談会に栄養士も出席し保護者の意見を取り入れるように努めた。法人内四園合同の栄養士会を年間4回開催し、情報交換と食育への取り組みについて強化した。毎月、「給食だより」を検討した。

カ 安全管理

5月18日、立川消防署員に来ていただき心肺蘇生講習会を職員に実施した。

6月4日、立川警察署員による交通安全教室を実施した。

園庭の砂場は職員が毎月2回掘り起こし、紫外線に当てた。

学校110番点検、防災無線点検、防火装置点検を業者に依頼し実施した。

「建物、および消防自主点検表」に基づき、日々、チェックした。

各クラス、給食室、ホール等のエアコンの清掃・点検を業者に依頼して実施した。

給食室の清掃を業者に依頼して実施した。

多摩・立川保健所による栄養士・調理士の手指の衛生検査を実施した。

新型インフルエンザの感染予防に玄関、各クラス入口、給食室、事務室等に消毒液とマスクを配置し感染拡大に備えた。

(2) 職員の処遇

ア 職員構成は上記のとおりである。

イ 健康管理

全職員の健康診断を実施した。(受診機関は多摩健康管理センター))

全職員の検便を毎月実施した(検査機関は株式会社立川臨床医学研究所)

ウ 職員会議

毎月定例で実施し、年間12回。

職員会議開催日の午前中に、園長、副園長、主任、副主任により幹部会を開き、園児、職員の状況について共有した。

期別会議を4月4日、9月2日、1月8日の3回実施した。

リーダー会議、フロアー会議、事前行事打ち合わせを適宜開催した。

カリキュラム会議を毎月開催し、保育内容の見直し・検討を実施した。

エ 研修計画の実施状況

園長 東京都主催の認可保育所講習会
東社協主催の総合子ども園創設について

副園長 民保協主催の経営層向け研修会

主任 東京家政大学主催の人材育成研修

国立市主催の幼稚園・保育園、小・中学校合同生活指導連絡協議会
白梅学園大学主催の養成校との連携について

副主任 法人主催の研修

保育士 中堅保育士2名東京都福祉保健局主催の社会福祉施設従事者人権研修、
親へのサポート、発達障害、絵画指導、運動会の実技、こどもの育ち、子どもの心理など実務的・実践的な研修・講習に出席。法人主催の研修(虐待対応、子どもへの対応、職場のコミュニケーション、小学校との連携)等を受講。

看護師 保健所主催の小規模プール講習会、日保協主催の乳幼児傷害予防セミナー、東

- 京都主催の予防接種と感染症、民保協主催の保健研修会
栄養士 保健所主催の栄養管理講習会、東社協主催の食物アレルギー児への保育所での対応、給食担当者講習会、民保協主催の調理研修会参加。
- ・研修・講習に参加した職員は報告書を提出するとともに園内研修報告会を実施し共有化を図った。
 - ・国立市私立保育園主任会主催の研修に小田原女子短期大学小沼肇学長を招き、「今、保育に求められている子育て支援について」講演をいただき16名が参加した。
 - ・法人内四園合同の主任会、栄養士会、看護師会を定期的に行い、最新情報の共有化と技術の向上に努めた。
 - ・法人主催研修については、法人内四園の「主任・副主任会」で内容の検討をして、研修内容を決定した。

オ 人材育成

OJTを実施し、人材育成の一助とした。

自己評価制度を取り入れ、職務の遂行状況と見直しをした。

自己申告制度を実施し、意識の高揚を図った。

カ 福利厚生

- ・職員の親睦と融和を図ることを目的に食事会、歓送迎会への助成をした。
- ・退職職員の事務手続きを速やかに実施した。
- ・給食室の栄養士、調理士にエプロン、上衣を新たに貸与した。
- ・保育士にエプロンを貸与した。
- ・感染症予防のため、職員にマスクを支給して日々交換した。
- ・希望者へインフルエンザの予防接種費用を助成した。

2. 施設管理

(1) 事務関係

会計事務、管理事務、児童処遇事務を適切に行った。

会計事務、社会保険事務を契約事業者と連携し速やかな事務の遂行に努めた。

(2) 設備関係

蛍光灯安定器を交換し、LED化した(1歳児室、事務室)、LED化計画の第3年目。

園庭滑り台の撤去、園庭樹木の剪定、園庭のキウイ棚・柵・ミニハウス・避難用階段等の塗装、2階テラスの屋根コーキング工事、厨房用給湯器交換、厨房水道工事
園庭に面した事務室ガラスを強化ガラスに変えた。バスケットゴール交換工事、

(3) 備品関係

乳児室用洗濯機、体育指導用マット、事務室パソコン2台、大型三輪車(2台)等を購入した。

(4) 財務関係

予算の執行については毎月の運営会議、8回開催した理事会等で進捗状況を詳細に検討し、適切な運営・処理に努めた。

別紙、決算書参照

(5) 災害対策

ア 避難訓練

地震想定を4月22日、6月11日、8月6日、9月3日、12月9日、2月13日、の6回実施した。

毎回の避難訓練後に職員による消火器実射訓練を実施した。

火災想定を5月13日、7月10日、10月10日、11月12日、1月23日、2月13日の6回実施した。

毎回の避難訓練後に職員による消火器実射訓練を実施した。

不審者対応訓練を立川警察署署員の1月14日に実施した。

災害時引き渡し訓練を9月4日に実施した。

避難訓練、消火訓練等を実施後は速やかに立川消防署国立出張所へ「自衛消防訓練通知書」をFAX送信した。

イ 防災設備の点検を(株)千代田防災に委嘱し2回実施した(9月27日、3月23日)。

ウ 防災自主点検を月1回実施した。

エ 非常時に備え、新たに保存用飲料水、保存食糧、園児用防災クッション(防災頭巾)、職員用ヘルメット、飛散防止型蛍光灯、消火器、非常用飲料水タンク、災害対策用鍋セット等を備えた

オ 園舎内外の設備点検

建設設備定期検査、特殊建築物定期調査を6月21日(株)松本設計に依頼して実施した。ダムウエーターの点検を(株)サイタ工業に依頼し5回実施した。

屋上に設置してあるガスヒーポンの室外機を(株)協和日成に依頼して9月19日に点検した。地下タンク定期点検を出光リテール販売(株)に依頼して5月21日に実施した。

3. 地域社会との連携

ア 地域交流、子育て支援

- ・老人福祉施設サニーライフとの交流を実施した。
園児がサニーライフへ伺ったり、入所者が園においでいただき運動会の予行練習の見学やお遊戯会の見学等交流を深めた。年間10回。
- ・出前保育の実施 北第一公園を利用して公園に遊びに来ているお子さんとエプロンシアター、大型紙芝居、協同遊びなどを行った。
4月22日、5月23日、6月18日、10月9日、11月18日、12月13日の6回実施した。
- ・異年令交流
国立市立第四小学校を年長児が2月13日に訪問した。
国立市北学童を年長児が3月5日に訪問した。
- ・保育所体験を10回実施した。
- ・小・中・高生の育児体験受け入れ（中学生・高校生ボランティア受け入れ）
9人延べ18日間実施した。
- ・子育てサークル支援
6月8日、7月13日、9月14日、11月8日、1月11日、3月8日の6回実施した。
- ・子育て情報誌「わくわくつうしん」「おおきくなあれ」をほぼ月1回、計12回発行した。
- ・地域の方へ毎週水曜日に園庭を開放した。
- ・人形劇団を呼び地域の方へも開放した。

イ 児童虐待への対応

児童虐待については法人独自の職員研修会を実施するなど、その早期発見に力を入れて取り組んでいるところである。園長が非常勤を含む新規採用職員へ研修を行った。また、気になる園児が複数存在することから、国立市の子ども家庭支援センターとの密接な連携をとり、事故の未然防止に努めている。次年度も引き続き早期発見、早期対応を心掛ける。

法人内研修として、元、東京都児童相談所の職員で国分寺市子ども家庭支援センターの職員による研修を実施した。

4. その他

ア 個人情報の保護について

個人情報管理規定を職員に周知徹底し、適切に取り扱った。

個人情報等の流失防止と安全対策のため、データサーバーを設置した。

イ ホームページを大幅にリニューアル

内容を日々更新し、携帯からも見られるようにして保護者への迅速な情報提供に努めた。

ウ 東京都福祉サービス第三者評価を受診した。

保護者から寄せられた意見・要望については、改善した内容や取り組み中の事項について「おしらせ」を配布した。

エ 保育所保育指導要録を各小学校（6校）へ送付した。

オ 大学、短大、専門学校4校の保育実習生6名を受け入れた。

以 上

平成 25 年度 事業報告書

社会福祉法人 国立保育会

北 保 育 園

平成 25 年度 事業報告

< 保育理念 >

『かけがえのない命をはぐくむ場』を実現するべく、保育所保育指針に沿い全職員が保育課程をはじめとする保育の計画に携わり、内容を周知するなかで保育目標である①あいさつをしよう②じょうぶな身体づくり③友だちと共に生きる力を養う④自ら意欲的に取り組む力を養うについて具体的な保育の展開を行い、『北保育園』としての保育を行った。

I 施設運営

1. 児童の処遇

(1) クラス編成

全園児数は、定数 69 名に対し 4 月は 84 名 5 月～7 月は 83 名 8 月は 85 名
9 月～11 月は 86 名 12 月～3 月は 87 名だった。

クラス名	年齢	園児数	保育士数	備 考
ひなぎく組	0 歳児	9 名	4 名	主任保育士 1 名
すみれ組	1 歳児	16 名	3 名	副主任保育士 2 名
たんぽぽ組	2 歳児	16 名	3 名	フリー保育士 2 名
ちゅうりっぷ組	3 歳児	16 名	2 名	非常勤保育士 5 名
すずらん組	4 歳児	14 名	2 名	看護師 1 名
ひまわり組	5 歳児	16 名	3 名	栄養士 2 名 (含管理栄養士 1 名)
合 計		87 名	17 名	非常勤調理師 2 名
				非常勤栄養士 1 名
				用務 3 名
				事務 (本部) 1 名

(2) 月別保育予定日数

保育予定日数 295 日保育を実施した。

(3) 健康管理

① 保健年間計画

- ・ 全園児健康診断を 4 月 19 日、10 月 18 日に実施した。
- ・ 0 歳児健診を 12 回実施した。

(4 月 19 日 5 月 24 日 6 月 28 日 7 月 26 日 8 月 23 日 9 月 27 日 10 月 18 日
11 月 29 日 12 月 27 日 1 月 24 日 2 月 21 日 3 月 28 日)

- ・ 1 歳児健診を 4 回実施した。(4 月 19 日 7 月 26 日 10 月 18 日 1 月 24 日)
- ・ 眼科検診を 6 月 5 日に実施した。
- ・ 耳鼻科検診を 5 月 15 日に実施した。
- ・ 歯科検診を 6 月 27 日に実施した。
- ・ 尿検査を 5 月 9 日に実施した。
- ・ ぎょう虫卵検査を 5 月 9 日に実施した。
- ・ 身体測定を毎月 1 回実施した。

- ・健康診断、検診について計画通り全て実施した。
- ・健康診断、検診について保護者に事前に知らせ、結果については健康手帳に記録すると共に、クラス前伝言ボードへの記載をした。

② その他

- ・歯科講話を 10 月 31 日に実施した。(歯科医師、歯科衛生士)
- ・口腔衛生指導を歯科衛生士により実施した。

(幼児 3 クラス…6 月 14 日 11 月 12 日 5 歳児のみ…2 月 28 日)

- ・看護師による保健指導(うがい、ブラッシング、手洗い、体のしくみ等)を実施した。
- ・感染症の拡大防止に努め、室内消毒や保育室を完全に分ける等、適切に対処した。インフルエンザ A 型 B 型、感染性胃腸炎等が発生した場合、玄関先や各保育室にてタイムリーに情報を掲示し、保護者に注意喚起すると共に情報の迅速な周知に努めた。
- ・看護師は、入園説明会において保護者に保育園で健康かつ衛生的な生活を送る事が出来るよう説明をした。
- ・看護師は、保護者懇談会に参加し保護者の質問に応えると共に、保健指導を実施した。
- ・4 歳児アレルギー児が自宅にてアナフィラキシーが起きた為、該当児童に対するマニュアルとチェックリストを作成し、アレルギー事故が起きないように配慮した。また、全職員がエピペンを使用できるように、空容器にて扱い方の園内研修を実施した。
- ・園児の体力増進の一環として体育指導を専門講師により実施。園児、保護者共に積極的に参加しよう、させようとする姿が見られる。

③ 冷凍母乳について

- ・母乳栄養の継続を希望する保護者 1 名に対し、冷凍母乳を受ける体制を整え対応した。

(4) 保育内容

① 各クラスの保育内容

保育理念『かけがえのない命をはぐくむ場』

保育方針『心身の健全で調和のとれた育成に努力し、豊かな人間性を持つ子どもを育て将来において親子の真の幸せを実現することを目標とする』

保育目標・あいさつをしよう ・じょうぶな身体づくり

・友だちと共に生きる力を養う ・自ら意欲的に取り組む力を養う

以上の実現のために保育計画を作成し、達成できるよう努めた。具体的には以下の通り。

* 保育課程の見直しを各年次別に行い、全職員で検討し保育の実践を行った。

* 全クラス保育士の一人を持ちあがりとし、子どもたちや保護者の精神的負担の軽減を図った。進級等の環境の変化にもスムーズに対応できた。

* 行事後に保護者の意向をアンケートで把握すると共に、職員の評価・反省を行い次

年度に生かしていけるよう努めた。

＊5歳児は就学前の時期であることから、4歳児と別保育が出来るようそれぞれの年次に担任をつけ保育を実践した。国分寺市立こどもの発達センターつくしんぼと連携を取りながら、該当児童1名に保育士を1名加配し丁寧な保育を心掛けた。

＊0歳児は長時間保育の子どもが殆どのため、子どもや保護者の負担軽減を考慮し、クラス担当者と担当のフリー保育士による時差出勤による保育を行った。

＊幼児の縦割り活動では異年齢児との交流を行い、積極的に集団生活を行えるよう促した。

＊保育士がそれぞれ得意なダンス・英語（うた・絵本）・パネルシアター・楽器を取り入れた保育の実践に慣れてきた。今後も各クラスにおいての実践ができるよう確認をした。

＊2月に保護者の保育参加（保育士体験）を希望者に行い、日常の子ども達の様子、保育士との関わり方を知り、保育園に対する理解が深まるよう努めた。

＊乳児・幼児クラスに総合的なリーダーを置いたが、乳児クラスは指導職や乳児全体の意思の疎通が図れたが、幼児クラスについてはリーダーの役割が機能せず、今後の課題を残した。

＊『保育環境設定リーダー』を乳児・幼児クラスに各1名ずつ位置づけた。園全体の環境設定の見直しについて、徐々に担当がリーダーシップをとる意識付けが課題となった。

② 主な行事

4月 1日 第16回入園式・進級式

18日 誕生会

5月 1日 子どもの日の集い

9日 誕生会

24日 交通安全指導（立川警察署）

29日 遠足（昭和記念公園）

6月 6日 誕生会

11日 おはなしの会（年長児のみ）

17日～22日 保育参観・懇談会

7月 2日 プール開き（プールあそび 7/2～8/30）

4日 誕生会

5日～6日 お泊り保育（年長児）

8月 1日 誕生会

30日 災害時園児引き渡し訓練

9月 5日 誕生会

7日 あきまつり

13日 敬老の日の集い

10月 3日 誕生会

6日 運動会（10/5が雨天のため翌日実施）

- 22 日 遠足 3,4,5 歳児（多摩動物公園）
- 1 日～31 日 各クラス保護者個人面談（日程については個別配慮あり）
- 11 月 7 日 誕生会
- 13 日 魚の解体ショー
- 18 日 交通安全指導（立川警察署）/ 勤労感謝の集い
- 12 月 5 日 誕生会
- 7 日 おたのしみ会
- 18 日 クリスマス会
- 1 月 9 日 誕生会
- 10 日 もちつき大会
- 9 日～21 日 年長児個人面談
- 24 日 おわかれ遠足（三鷹の森ジブリ美術館・井の頭公園）
- 2 月 3 日 節分の集い・豆まき
- 6 日 誕生会
- 12 日 西国分寺保育園との交流
- 18 日 豚汁大会（園庭にて災害時用かまど使用）
- 1 日～28 日 保育参加（保護者の保育士体験） 全クラス
- 3 月 2 日 平成 26 年度新入園児説明会・面接
- 3 日 ひなまつり会
- 6 日 誕生会
- 11 日 おわかれ会
- 20 日 第 14 回 卒園式

(5) 栄養管理（食育指導を含む）

- ・毎月 1 回の献立会議、離乳食会議を計画通り実施し、評価・反省や課題検討を実施した。
- ・栄養士は、毎月 1 回カリキュラム会議に参加し、食育指導について保育士や看護師と連携を図れるよう努めた。
- ・毎月、保護者に食事だよりや献立表を配布し、食育についての保護者指導に努めた。アレルギー児の対応については、アレルギー児用の献立表を該当保護者に配布、医師の診断書に基づき適切な対応を行った。
- ・離乳食については、初期・中期・後期・完了期の個別対応を目指し給食の提供を実施した。
- ・冷凍母乳については、希望する保護者 1 名にマニュアルに沿って適切に対応した。
- ・2～5 歳児クラスで、園庭の畑やプランターを利用して野菜の栽培をした。
(5 歳児…ナス 4 歳児…キュウリ 3 歳児…ピーマン 2 歳児…トマト)
- ・4,5 歳児クラスは米の栽培をした。脱穀まで至らず、稲は正月用飾りとして制作を行った。
- ・取引業者（鮮魚店）に魚（ぶり）の解体ショーをしていただき、栄養士が『命をいただく』という事の指導を実施した。
- ・1～5 歳児まで各年齢に合わせた食育指導を行い、園児が食への興味・関心を高めら

れるよう努めた。指導にあたっては、管理栄養士・栄養士・保育士が連携を図り取り組むことができた。

- ・栄養士は、新入園児説明会や保護者懇談会で保護者が保育園の給食に関心が高まるよう努めた。
- ・集団給食施設栄養報告書を多摩立川保健所に提出した。(5月,11月)
- ・北保育園内に法人内児童の食育を推進するための食育推進準備室が設置され、食育推進室発足のための会議を実施した。

(6) 安全管理

- ・立川警察署員による交通安全指導を受け、散歩や遠足等の園外活動において職員も園児も安全に留意できるよう努めた。(5月24日 11月18日)
- ・立川消防署員による応急救命(心肺蘇生法)およびAEDの使用について講習会を開いた。水遊び前に実施することにより、職員の意識向上に努めた。(6月25日)
- ・砂場は10日に1回程度掘り起こしをして紫外線に当てた。
- ・学校110番点検、防火装置点検を業者に依頼し実施した。
- ・防災無線を使用した訓練を月1回実施した。
- ・伝言ダイヤル・伝言webを使用した災害時の連絡訓練を保護者・職員に実施した。
- ・給食室のガス系統、電気系統、給食室及びトイレの水道回りの点検・整備を業者に依頼し実施した。また、経年劣化による機器取り換え工事の見積もりを取った。
- ・安全確認チェック表を用い、日々の施設チェックを実施した。
- ・保育園周辺で何かあった際は、直ちに自治会長及び11号棟長への報告と法人本部への報告、国立市役所への報告を行い、職員への周知、園内(玄関先・全保育室)に掲示をし、保護者に送迎時直接注意喚起をし、安全を確保できるよう努めた。
- ・お泊り保育の際は、国立市役所児童青少年課、立川警察羽衣交番、団地自治会、地域自治会にお知らせし、見守りの協力を得る事が出来た。
- ・多摩立川保健所による乳(アレルゲン)の拭き取り検査を実施した。結果、混入はなかった。
- ・小麦の飛散状況の検査のため、米粉を使用しパンを作って提出用専用パックに入れ、多摩立川保健所に提出をした。結果、米粉パンへの混入はなかった。
- ・感染症の感染拡大予防のため、朝の特例保育時と夕方保育時及び延長保育時の保育室を随時変更し保育の工夫をした。また、玄関・各クラス入り口付近カウンター・給食室・調乳室・事務室に消毒液を置いた。

2. 職員の処遇

(1) 職員構成

園長	1名	主任 副主任	1名 2名	保育士	19名	管理 栄養士 栄養士	1名 1名	看護師	1名
非常勤 調理師 栄養士	2名 1名	非常勤 用務	3名	非常勤 保育士	5名	(本部) 事務	1名	嘱託医	1名

- (2) 健康管理
- ・全職員の健康診断を実施した。
 - ・全職員の細菌検査（検便）を実施した。（立川臨床医学研究所）
 - ・希望者にインフルエンザの予防接種を実施した。（結果としては、体調不良により 3 名が未接種。）
- (3) 職員会議
- ・定例の職員会議、行事前会議を年間 15 回実施した。
 - ・リーダー会議、乳児会議、幼児会議は月 1 回実施した。必要性に応じてリーダー会議に変更し、周知事項の徹底を図った。
 - ・カリキュラム会議ではプロジェクターを使用し、担当クラスが保育のねらい、目標、保育の展開の仕方等の説明を行い、他クラスや他職種からも質問や助言を受け保育に反映させるようにした。
 - ・事故等があった場合は、当日か若しくは翌日の午睡時間帯にケース会議を行い、状況説明・問題点・改善点を話し合い、再発防止に努めた。
- (4) 自己評価
- ・職員の自己評価を実施し、毎月の業務の振り返りと改善に努めた。自己目標はあらゆる角度から自由に設定できるよう、OJT 等で新たな気づきへ導けるよう努めた。
- (5) 自己申告制度
- ・自己申告制度に基づき特性や意向を把握すると共に、園長との個人面談において意識の高揚を図った。
- (6) 人材育成
- ・指導職は職員の目標の実現に向けて、進捗状況の確認に努めた。
 - ・OJT の実施、研修報告書の回覧や報告にて人材育成の一助とした。
 - ・クラス面談を実施し、個人個人の役割の把握や理解を深めると共に、コミュニケーションを中心とする少人数での問題解決の場を作ること意識向上に努めた。
- (7) 新入職員の技術の習得と向上
- ・新入職員に対して定期的に個人面談を実施し、問題点や課題を探り解決策を見いだせるよう努めた。
 - ・指導職が、保育現場においての実践的指導に努めた。
- (8) 研修計画
- | | |
|----|--|
| 園長 | 東京都民間社会福祉施設サービス推進費申請適正化に関する研修会、保育事故における注意義務と責任、災害対策講演会「子どもの災害対応と備え」、防災・防犯セミナー、サービス推進費申請事務講習会 |
| 主任 | 国立市内合同生活指導連絡協議会、保健研修会「夜尿症から見えてくる |

様々な心の育ちについて」、平成 25 年度就学相談講習会

副主任 地域子育て支援機関研修、平成 25 年度保育所主任保育士研修会

保育士 新入社員合同研修、保育プラザ研修、保護者と「つながる」コミュニケーション、運動会実技研修会、運動会のための講習会、リトミック講習会、日頃使える 1 分間のあそび、劇あそび特別講習会、国立市教育フォーラム、保育要録の書き方・指導法、“特別支援教育連携”関係職員研修、リーダーシップ研修会、これからの保育者に求められる力、発達が気になる子どもの理解と支援、心が和むふれあいあそび、傾聴研修、一日保育園ごっこ、保護者と「つながる」コミュニケーション、離乳食・幼児食提供の際の留意点と家庭へのアプローチ

看護師 保育園歯科事業についての説明会、母子保健研修「予防接種と感染症」「子どもの事故予防」、小規模プール講習会、発達障害児についての取り組みについて、保健研修「感染症について」

栄養士 第 1 回栄養管理講習会、第 4 回栄養管理講習会、調理研修、離乳食・幼児食提供の際の留意点と家庭へのアプローチ、大人も子どもも魚で元気、食品衛生講習会、感染症について

管理栄養士 平成 25 年度給食担当者講習会（全 4 回）、調理研修、第 19 回咀嚼と健康ファミリーフォーラム「噛む効用を考える」

* 法人主任会主催研修会への参加を行い、自己研鑽に努めた。参加人数は以下の通り。

5 月	保育園における児童虐待の対応について	6 名
6 月	保育指針の取り組み方について	10 名
7 月	ヒヤッ！としたことを話し合おう	7 名
8 月	小学校との連携について	2 名
9 月	発達障がい児の対応について	4 名
11 月	保護者とのコミュニケーションの取り方	6 名
11 月	新入職員フォローアップ研修	2 名
12 月	食育について	3 名
1 月	保育指針の取り組み方について	12 名
2 月	コーチング力 ディズニーの教え方	6 名

* 国立私立保育園主任会主催研修では小沼肇先生に『今、保育園に求められている子育て支援』について講演していただき、20 名が参加した。

* 法人内 4 園合同の主任会、栄養士会、看護師会を定期的に開催し情報の共有化と議技術の向上に努めた。

* 法人内に発足した発達支援室に 5 歳児担当の 2 名が参加し、気になる子どもの姿の

理解に努め、職員会議の中で報告を行い周知に努めた。報告書等についてはファイリングをし誰もが確認できるように取り扱いをした。

*研修会、講習会に参加した職員は報告書を提出するとともに、職員会議で報告を行い知識の共有化に努めた。

(9) 退職・福利厚生

- ・退職金については、速やかに適切な事務手続きを行った。
- ・職員の親睦と融和を図るため、食事会、歓送迎会への助成をした。
- ・職員のジャージの補充をした。
- ・インフルエンザの予防接種への助成をした。

3. 施設管理

(1) 事務関係

① 会計事務・管理事務

- ・予算計画に応じて事務処理を行った。
- ・社会保険事務を契約業者と連携し速やかな事務の遂行に努めた。

② 児童処遇事務（保育・給食・健康管理）

- ・児童処遇は、保育課程・給食献立・年間健康診断予定表により適切に行った。
- ・延長保育料金について、4月1日より19:15を過ぎた場合に15分につき500円の課金を実施。結果、19:15を過ぎての降園件数が減少した。

③ 勤務の管理

- ・職員の入退室、出勤・退勤時間の管理を出退勤システム（タイムプロ）により適切に行った。

(2) 施設関係

乳児テラスラバー補修、園庭芝生補修工事、園庭固定遊具安全マット施工工事、園庭側靴箱取り替え工事及び塗装補修、調理室窓ガラス取り替え1枚、0歳児保育室扇風機取り替え工事、5歳児室扇風機取り付け工事（2台）、園庭庭木選定作業、幼児プール日除け用ポール追加設置、沐浴コーナー蛇腹水道口の取り替え、園庭トラック砂入れ、玄関解錠パネル交換工事、調理室インターホンメンテナンス、ガス台トップコックつまみ取り替え、調理室天井コンセント増設（単独ブレーカー設置）、幼児テラス補修工事、公園側フェンス補修、玄関靴箱上段補修（0,1歳児）、ガスメーター交換、舞台メンテナンス

以上の工事及びメンテナンスを行った。

(3) 備品関係

各クラスの遊具及び教材の充実、運動具の補充（三輪車ペダルあり3台、ペダルなし3台、やわらかかいだん）、楽器の補充（鍵盤ハーモニカ唄口、ベーカーズシェイカー、ウッドブロック、スレイベル、ジャンベ）、調理用品の補充（食器、鍋、調理器具）、哺乳瓶（母乳実感・ピジョン）の補充、乳児用長椅子2台、パソコン6台購入（調理

室専用 1 台、事務室分 5 台)、保育たたみ、ままごとサークル、回転ハンガースタンド 3 台 (2,3,4 歳児用)、0 歳児クラスデジタルカメラ 1 台購入

(4) 災害対策

① 避難訓練の実施は以下の通り

火災想定 4 月 23 日 (教育訓練を含む)、6 月 11 日、8 月 5 日、11 月 19 日、
1 月 21 日、2 月 19 日、3 月 3 日 (春の火災予防週間)、計 7 回。

消火訓練 2 月 19 日、計 1 回。(8 月 5 日を予定していたが実施できなかった。)

地震想定 5 月 16 日、7 月 16 日、8 月 30 日、10 月 7 日、12 月 12 日、3 月 10 日
計 6 回。

災害時園児引き渡し訓練 8 月 30 日、計 1 回。

不審者対応訓練 9 月 12 日、3 月 5 日 (教育訓練を含む)、計 2 回。

*避難訓練年間計画に基づき、『自衛消防訓練通知書』を立川消防署国立出張所に年度当初に提出した。

② 防災設備の点検を千代田防災に委嘱し 8 月 5 日、2 月 19 日の 2 回実施した。

③ 防災自主点検を月 1 回実施した。

④ 毎日、建物及び消防自主点検を実施し、記録した。

⑤ 非常時に備え新たに購入・補充したものは以下の通り

安心米、フリーズドライ味噌汁、野菜ミックス、バランスパワー、飲料水、防災用か
まどセット、燗薪、炊飯袋、カセットコンロ、カセットガス、折りたたみ式ウォータ
ータンク、折りたたみ軽量リヤカー、アルミ避難車、災害用敷きマット、滑り止め、
防災シューズ、止血パット

⑥ 防災のマニュアルを全職員に配布し、会議の中で確認を行い周知に努めた。保護者への連絡方法や法人への連絡方法のひとつとして、伝言ダイヤル・伝言 WEB を利用し訓練を実施した。

4. 地域社会との連携

(1) 地域交流・子育て支援

① 地域のお年寄りとの交流

(北在宅サービスセンターとの交流)

5 月 10 日、6 月 7 日、7 月 8 日、9 月 9 日、10 月 21 日、11 月 8 日、12 月 10 日、
1 月 17 日、2 月 4 日、計 9 回実施。

(北二丁目みどり会との交流)

6 月 22 日 (雨天中止)、11 月 14 日、1 月 10 日、計 2 回実施。

② 地域の子育て支援・子育て家庭との交流

*随時、育児相談を受け入れる体制で 6 件の相談に対応し、地域の拠点となるべく努めた。

(子育てサークル支援)

5 月 18 日、6 月 15 日、7 月 20 日、9 月 21 日、11 月 16 日、1 月 18 日、計 6 回実施。

(子育て情報誌の発行)

5月1日、6月1日、7月1日、8月1日、10月1日、11月1日、12月2日、1月4日、2月1日、3月1日、計10回発行。(保育士・看護師・栄養士が担当した。)

(出前保育)

5月15日、6月5日、7月10日、9月18日、10月23日、11月13日、計6回実施。

(保育所体験) パートナー保育登録数…86家庭

5月24日 交通安全指導、9月7日 秋まつり、11月13日 魚の解体ショー、
1月10日 餅つき大会、2月3日 節分・豆まき、計5回実施で参加者は30名。

(園庭開放)

毎週水曜日実施に対し年間実施回数は33回、年間利用総数は298名。

③ 小学校や学童との交流・連携

・国立市第四小学校訪問 2月17日

・北学童保育所訪問 2月25日

・西学童保育所(西児童館訪問) 3月13日

・保育所児童保育要録は、事前に各学校と連絡を取り国立市内3校には担当教諭又は副校長と面談の上、手渡しをした。また、市外4校については各小学校と事前に連絡を取り、簡易書留にて送付した。(国立市立第四小学校、第六小学校、第八小学校、国分寺市立第二小学校、第八小学校、立川市立第三小学校、調布市立八雲台小学校)

・園長が、地域の自治会主催の行事(春1回、夏1回、秋1回、計3回)、第4小学校の運動会と展覧会、第2小学校の学芸会に参加した。

④ その他

・中・高・大学生の職場体験(ボランティア) 7月24日、7月25日、7月26日、
8月12日、8月13日、10月23日、10月24日、各日1名。

・大学・短期大学の保育実習の受け入れ

東京工学院専門学校(1名) 5月13日～5月24日

聖徳大学短期大学(1名) 5月20日～5月31日

聖徳大学短期大学(1名) 9月2日～9月13日

新渡戸文化短期大学(1名) 8月19日～8月31日

白梅学園短期大学(1名) 11月5日～11月18日

東京家政学院大学(1名) 10月21日～11月2日

白梅学園大学(2名) 1月30日～2月13日

成徳大学(1名) 2月3日～2月18日

・異年齢児との交流 9月7日 秋まつり、10月6日 運動会、計2回43名の参加。

・地域の方へ保育園掲示板やホームページ、配布物等を利用し保育園の活動を知らせる事に努めた。

(2) 児童虐待への対応

・虐待問題については早期発見と速やかな関係機関への連絡を図っているところであるが、更に虐待の『気づき』について、職員会議の中で職員の共通認識を図った。

・国立市子ども家庭支援センターとの情報交換及び連携を図ったケースがあったため、

今後も注意深く保育を行い、事故の未然防止に努めると共に、連携を密にすることを心掛ける。

5. その他

(1) 個人情報

- ・個人情報管理規定を全職員に周知徹底し、適切に取り扱った。実習生、ボランティアもオリエンテーションを通じ同様とした。
- ・本部サーバーへのデータの一元管理により情報管理を徹底した。

(2) 苦情対応

- ・苦情受付窓口を設置し、保護者からの意見や提言に耳を傾け、保育に反映させていく体制をとっているが、苦情を受け付ける事は無かった。今後も体制を整えていく。

(3) 東京都福祉サービス第三者評価

- ・保護者から寄せられた意見や要望（利用者アンケート）については、園内に掲示し自由に閲覧できるようにした。
- ・職員会議の中で利用者アンケート・職員アンケートの検証を行い、全職員で現状分析を行い、改善計画を立てた。作成した改善計画は園内に掲示した。また園だよりにて掲示を知らせ、周知に努めた。

以上

平成25年度

事業報告

社会福祉法人 国立保育会

西国分寺保育園

西国分寺保育園 25 年度事業報告

25 年度は、13 時間保育、病後児保育事業、一時保育事業を実地した。
開所より 6 年が経過し、園児及び職員も落ち着いて保育にあたれるようになってきた。職員には、子ども、保護者、職員に対して、“目配り”“気配り”“心配り”を大切にし、丁寧な保育を心がけるようにしてきた。年度当初の全体保護者懇談会や 1 月の懇談会では、1 年間の見通しを持ち、職員と保護者が共に子どもに向き合えるよう、目標や経過を伝えるようにした。また、随時受付けている保育参観の利用者も増え、開かれた保育園となるよう努めてきた。参観後に、園の様子や、職員の配慮がよく分かり、良い機会となっているとの評価していただけた。

1. 施設運営

(ア) 児童の処遇

① 定員とクラス編成

星組	月 1 組	月 2 組	虹 1 組	虹 2 組	風組	海組	空組
0 歳児	1 歳児	1 歳児	2 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児
9 名	10 名	10 名	12 名	12 名	24 名	24 名	24 名
							合計 125 名

月別入所児童数

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
123	122	123	123	123	123	123	123	123	123	123	123

入所児童数に下記のとおり変動があった。

クラス名	年齢	園児数	保育士数
空 組	5 才	4 月～3 月：23 名	2
海 組	4 才	4 月～3 月：23 名	2
風 組	3 才	4 月～3 月：24 名	3
虹 1 組 虹 2 組	2 才	4 月～3 月：24 名	2 2
月 1 組 月 2 組	1 才	4 月～3 月：20 名	3 2
星 組	0 才	4 月 9 名、5 月 8 名 6 月～3 月 9 名	3
			他 主任 1 副主任 1

② 月別保育予定日数と開所時間

事業計画どおりの保育日数で保育を実施、1 時間延長、2 時間延長保育も計画どおり実施した。

開所時間 1 3 時間

月別保育日数

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	合計 294 日
25	24	25	26	27	23	
1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	
26	24	23	23	23	25	

③ 健康管理

平成 25 年 保健行事実施日

■健康診断：

	H25									H26		
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
0 歳	4/24	5/29	6/26	7/24	8/28	9/25	10/30	11/27	12/18	1/29	2/26	3/26
1 歳	4/24						10/30					
2 歳	4/24						10/30					
幼児	4/24						10/30					

■布団乾燥：月 2 回実施

■歯科検診：9/5（全クラス）

■ぎょう虫検査：5/14（全クラス）

■尿検査：5/14（幼児クラスのみ）

■視力検査：

3 歳児	12/20
4 歳児	12/20
5 歳児	12/20

■身体測定

	H25									H26		
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
0 歳	4/15	5/15	6/14	7/16	8/15	9/13	10/15	11/15	12/13	1/14	2/14	3/17
1 歳	4/16	5/16	6/17	7/17	8/16	9/17	10/16	11/18	12/16	1/15	2/17	3/19
2 歳	4/17	5/17	6/18	7/18	8/20	9/18	10/17	11/19	12/17	1/16	2/18	3/19
幼児	4/18	5/20	6/19	7/19	8/19	9/19	10/21	11/21	12/18	1/20	2/20	3/20

■歯磨き指導：

2 歳	2/4
3 歳	6/11
4 歳	6/12
5 歳	6/11

■手洗い・うがい指導：

2 歳	手洗い指導：4/23 うがい指導：4/23
3 歳	4/24
4 歳	4/24
5 歳	4/24

■頭しらみ検査：

	H25			H26
0 歳	6/5	8/2	11/6	1/31
1 歳	6/5	8/2	11/6	1/31
2 歳	6/5	8/2	11/6	1/31
3 歳	6/6	8/1	11/8	1/31
4 歳	6/6	8/1	11/8	1/31
5 歳	6/6	8/1	11/8	1/31

健康管理の実施内容

I 期（4 月～6 月）

・春の内科検診

実施前に、担任及び保護者より、身体的・心理的・発達面における相談の有無について確認し、園医に確認しながら健診をすすめた。

・ぎょう虫検査・尿検査

検査についての詳細やスケジュールについては、保護者用にプリントを作成し、事前に配布した。検体回収日に欠席した場合や、検体取り忘れなどのために 1 週間後に再提出日を設定した。ぎょう虫検査に関しては、7 月のプール開始日を意識し、5 月上旬に実施した。

・頭しらみ検査

7 月のプール開始を意識し、6 月上旬に実施した。しらみ発生時はマニュアル中のチェックリストにそって対応をすすめることができた。

・手洗い・うがい指導

幼児クラスにおける手洗い指導については、手の汚れを視覚的に確認できる、ブラックライトを用いて指導を行った。2 歳児の指導は「あわあわ手洗いの歌」を中心に、手洗いの部位を紹介しながら歌にあわせて行った。

・歯みがき指導

幼児クラスにおける歯みがき指導については、「歯」についての知識（歯の固さの比較、歯の本数 など）をクイズで学ぶ形式をとった。次年度の課題としては、歯科検診の結果などをふまえた、保護者への「歯みがき」に対する子供へのアプローチを園医（歯科医）とともにすすめていきたい。

II 期（7 月～9 月）

・プール水質管理

プール入水前に塩素濃度を測定し、プールの水質管理につとめた。また、「プール管理日誌」に水質管理に関する記録を行った。

・歯科検診

歯科検診では、齲歯の他に反対咬合、開咬などの不正咬合についても診断し、昨年との比較を交えて健診をすすめることができた。

Ⅲ期（10月～12月）

・視力測定検査

視力測定については、測定方法の把握のために昼食後の時間を利用し、1～2日間、練習日を設けている。3歳児クラスにおいては丁寧に測定方法を伝え、要領をつかむ時間を十分に確保していく必要がある。今年度は4、5歳児は1日間、3歳児は2日間の練習時間を設け検査に臨んだ。

視力測定用のランドル表の理解が難しい園児については、プラスチック製の「C」マークをランドル表と同方向にする方法で検査を行った。

・職員に対するインフルエンザワクチン接種対応

職員のインフルエンザワクチン接種の必要性・重要性を職員会議の際に伝え、ワクチン接種の向上につとめた。

・空気清浄機の点検について

空気清浄機のフィルターの交換や具体的な掃除方法について職員に伝えた。インフルエンザの流行期における湿度管理にそなえ、十分な点検が必要で、その必要性についても職員に伝えることができた。

・秋の内科検診

春の内科検診同様、実施前に担任や保護者より身体的・心理的・発達における相談内容の有無について確認し、健診時に園医に確認した。

Ⅳ期（1月～3月）

・感染症対策

1月上旬～2月にかけてインフルエンザの流行が認められた。園児・職員ともに重篤例は認められなかったが、職員の予防接種の徹底が不十分であった点を次年度の課題としたい。インフルエンザ流行期における、乳児と幼児の接触を、園内では徹底して抑えた点は、感染拡大予防に大きくかかわった。また、保健所の指導のもと、インフルエンザに関する内容や予防法などをプリントで配布し、保護者の理解を求めた。並行し、毎日のインフルエンザ感染状況を園内掲示で報告した。

・新入园児の面接

在園児の保護者や、時間調整可能な方を中心に、新入园児の面接を行った。

保健サイドの確認事項は、特にアレルギーと疾患（既往歴、合併症）、予防接種の接種状況について詳細を聴取した。

④ 保 育

- ・行事の見直しを行い、フロアー会議を通し、職員間の周知を図る。
- ・各クラス、保育計画に基づき、指導計画を作成、計画に沿った保育を実践した。
- ・アレルギー児の誤食が無いようマニュアルの見直しを行う。
- ・配慮が必要な園児が増え、研修や心理士の先生と連携を継続的にとり、職員の悩みや対応について改善を図ることができた。
- ・普段の生活の中に園児の運動能力を高める活動を図り、運動会にも繋がるように計画的に行った。

4 月	1 日	入園式
	19 日	全体懇談会
5 月	15 日	誕生会（4、5 月生れ）
	23 日	春の遠足 昭和記念公園（4、5 歳児）
7 月	1 日	プール開き
	10 日	誕生会（6、7 月生まれ）
	29 日	スイカ割り
9 月	6 日	全園児災害時園児引渡し訓練
	11 日	誕生会（8、9 月生まれ）
10 月	12 日	運動会
	18 日	秋の遠足 黒鐘公園（3 歳児）
	23 日	秋の遠足 羽村動物公園（4、5 歳児）
11 月	13 日	誕生会（10、11、12 月生れ）
	20 日	勤労感謝の集い（大工）
12 月	4 日	大根掘り（5 才児）
	14 日	発表会
	19 日	クリスマス会
1 月	17 日	もちつき
	20～24 日	年令別懇談会
2 月	3 日	豆まき
	19 日	誕生会（1、2、3 月生れ）
3 月	6 日	卒園遠足（多摩六都科学館）
	22 日	卒園式
	24 日	お別れ会

体育指導（体育講師派遣：KKジャクパと契約）

4月	整列、挨拶、体操	16・23・30日
5月	マット運動	7・14・21・28日
6月	跳び箱	4・11・18・25日
7月	プール指導	2・9・16・30日
8月	プール指導	2・27・30日
9月	運動会練習	3・10・17・24日
10月	平均台運動	1・8・15・22日
11月	鉄棒運動	5・12・19日
12月	短縄運動	3・10・17日
1月	短縄運動	14・21・28日
2月	ボール運動	4・18・25日
3月	サーキット運動	4・11・18日

⑤栄養管理

- ・集団給食施設栄養報告（5月・11月）
- ・子ども達の発育に必要な栄養のバランスを考えて献立作りをした。
- ・食材の産地を明確にし、できるだけ国産の新鮮なものを使用するよう努めた。また、旬の食品を積極的に取り入れ、季節感のある食事作りをした。
- ・半調理品や添加物の多いものを避け、手作りの安全な食事を心がけた。
- ・生活習慣病予防のため、また素材の味を生かすためにも、塩分、糖분을控えた薄味にした。
- ・日本の食事の良さ、和食のおいしさを伝えるよう心がけた。
- ・衛生的な調理、盛り付けを行った。
- ・子ども一人一人に見合った量が食べられるようおかわりを用意した。
- ・誕生会のメニューを、行事食としていつもより手のこんだ献立に工夫した。
- ・献立に魚の回数を増やした。
- ・月1回のお弁当デーを実施し、子ども達が食に興味を持ち、楽しく食べられるような働きかけを活動の中に取り入れた。
- ・調理室の床を全面ドライに修復し、より衛生を保てるようにした。

【年間食育計画内容】

- ・計画に沿って園児、保護者、職員への食育指導を行った。
 - 4/19（風・海・空組） お弁当デー
 - 5/2（風・海・空組） こいのぼりランチのトッピング
 - 5/7（風組） 野菜の苗植え オクラ
 - 5/7（海組） 野菜の苗植え なす・とうもろこし
 - 5/7（空組） 野菜の苗植え きゅうり

5/14	(空組)	グリーンピースのさやむき
5/17	(海・空組)	お弁当デー
5/29	(風組)	そら豆のさやむき
5/31	(風組)	お弁当デー
6/5	(空組)	そら豆のさやむき
6/19	(風組)	そら豆のさやむき
6/21	(風・海・空組)	お弁当デー
7/4	(空組)	とうもろこしの皮むき
7/17	(風組)	枝豆の枝もぎ
7/18	(虹組)	とうもろこしの皮むき
7/22	(風・海・空組)	お弁当デー
7/29	(空組)	すいか割り
7/31	(海組)	枝豆の枝もぎ
8/14	(風組)	とうもろこしの皮むき
8/28	(虹組)	とうもろこしの皮むき
9/19	(風・海・空組)	お弁当デー
10/11	(風組)	お弁当デー
10/17	(海・空組)	お弁当デー
11/1	(虹・風組)	お弁当デー
11/8	(海・空組)	お弁当デー
12/11	(海・空組)	お弁当デー
12/25	(虹・風組)	お弁当デー
1/17	(全)	もちつき
1/22	(虹組)	お弁当デー
1/22	(空組)	お弁当デー&お弁当詰め
1/31	(風組)	お弁当デー
1/31	(海組)	お弁当デー&お弁当詰め
2/12	(虹・空組)	お弁当デー
2/26	(風・海組)	お弁当デー
3/12	(風・海・空組)	お弁当デー
3/26	(虹組)	お弁当デー

・各クラス年齢に応じた調理保育を計画し、実践した。

10/30	(空組)	りんごジャム作り
12/25	(風組)	おにぎり作り&お弁当詰め
1/20	(海組)	リボンサラダ作り
2/21	(空組)	カレーライス作り
2/28	(虹組)	芋もち作り

⑥ 安全管理

交通安全教育	2/14 (2才～4才)	2/21 (5才)
非常災害時の避難訓練	4/30 5/21 6/21 7/24 8/24 9/6 10/22 11/14 12/18 1/16 2/28 3/28	
災害時引渡し訓練	9/6	
消火訓練	11/7	
防犯訓練	7/31 1/22	
救急救命訓練	4/23 4/24	
エピペン使用方法訓練	4/1 (4/18) 2/13 (2/17 2/21)	

- ・年間計画に基づき、交通安全教室や非常災害時の避難訓練等を実施した。救急救命訓練は、国分寺市消防署署員立会いの下、心肺蘇生法とAEDの使用法について学び、実践した。アレルギーによるアナフィラキシー症状対応のエピペン使用方法訓練は看護師が主となり、年度初めと年度末に実施し、職員間の共通理解とした。また、ヒヤリハットや事故簿は回覧や会議にて伝えあい、子どもの安全を最優先とした生命の重さを職員が意識していくことに繋げた。
- ・年度途中で園舎内の熱探知器の誤作動が発生。原因を究明し、誤作動のあった探知器は取り外し、交換する。防災設備の点検は赤城工業から千代田防災に契約変更した。

(イ) 職員の処遇

① 職員構成

園長	1名
副園長	1名
主任保育士	1名
保育士	4月～12月 33名 1月～3月 32名
非常勤保育士	
4月 16名 5月～6月 15名 7月～3月 16名	
調理員	栄養士 4名 調理師 1名 (非常勤) 4月 2名
看護師	2名 (内病後児保育室 1名)
嘱託医	1名 (非常勤)
事務	1名 (非常勤)
用務員	4月～8月 1名 (非常勤) 9月～3月 2名 (非常勤. シルバー人材)
駐車場整理	3月 1名

② 健康管理

健康診断	年 1回	全員実施
細菌検査	月 1回	全員実施

③ 職員会議

定例会	4/1 4/18 5/21 6/21 7/24 8/29 9/18 10/22 11/20 12/19 1/17 2/24 3/14
臨時職員会議	10/9 10/28
リーダー会議	4/16 11/15
フロアー会議	4/4 4/5 4/11 4/16 4/18 5/13 5/23 6/6 6/13 7/2 8/5 8/28 9/19 10/22 10/30 11/1 11/11 11/20 11/21 1/7 1/14 1/17 2/21 2/24 3/10 3/12 3/18
運営会議	5/13 6/10 7/8 8/5 9/14 10/11 11/11 12/14 1/10 2/7 3/7
看護師会議	国分寺市看護師会 5/13 7/1 9/9 11/11 1/64 三園合同看護師会 5/11 7/13 9/14 11/9
栄養士会議	7/9 9/20 11/14 2/26
食育会議	4/12 5/24 6/24 7/25 8/20 9/25 10/25 11/26 12/25 1/29 2/25 3/24
主任会議	4/12 5/10 6/10 7/12 8/8 9/13 10/11 11/8 12/13 3/13 1/10 2/14

④ 研修

研 修 参 加 記 録

25年度

年 月 日	研 修 テ ー マ	参加者氏 名	職 種
			研修費用
25・4・8、 9	新入社員合同研修（社会人入門、社会人の心構え） 主催 たましん経営者研究会、たましん法人総合サービス BOB		保育士
			0
25・4・1 1・12	新入社員合同研修（社会人入門、社会人の心構え） 主催 たましん経営者研究会、たましん法人サービス BOB		栄養士・保育士
			0
25・5・9	サービス推進費用申請適正化に関する研修会 主催 東京都民間保育園協会		保育士
			0
25・5・1 1	法人看護師会 主催 国立保育会 看護師会		看護師
			0

25・5・1 3	国分寺市看護師会 主催 国分寺市子ども福祉部保育課		看護師
			0
25・5・1 5	第1回栄養管理講習会 主催 多摩立川保健所		栄養士
			0
25・5・2 3	第2回栄養管理講習会 主催 多摩立川保健所		栄養士
			0
255・25	保育園における児童の虐待について 主催 国立保育会		保育士
			0
26・5・2 7	平成25年度東京都の保育行政及び指導検査研修 主催 東京都民間保育協会		園長
			¥21,000
25・6・4	給食担当講習会 主催 東京都社会福祉協議会保育部会		栄養士
			0
25・6・5	第3回栄養管理講習会 主催 多摩立川保健所		栄養士
			0
25・6・1 0～11	平成25年度東京都保育研究大会 母子保健係 主催 東京都社会福祉協議会		保育士
			¥6,000
25・6・1 4	新保育指針について 主催 国立保育会		保育士
			0
25・6・2 0	母子保健研修・乳幼児の発育・発達と育児支援 主催 東京都福祉保健局少子社会対策部家庭支援課		保育士
			¥13,200
25・6・2 8	子どもの意欲を育てる環境設定 主催 国分寺市保育課		保育士
			0
25・7・9	運動会実技研修会 主催 日本幼児教育研究会西東京支部		保育士
			¥2,500

研 修 参 加 記 録

25年度

年 月 日	研 修 テ ー マ	参加者氏名	職種
			研修費用

25・7・1	国分寺市看護師会 主催 国分寺市子ども福祉部保育課		看護師
			0
25・7・2	感覚調整障害・身体機能の困難と支援 主催 都立小児医療センター・子ども家庭支援部門		保育士
			0
25・7・9	実践「乳児から楽しめる運動遊び」 主催 国分寺市保育課		保育士
			0
25・7・1 2	ヒヤッとしたことを考えよう 主催 国立保育会		保育士
			0
25・7・1 3	法人看護師会 主催 国立保育会 看護師会		看護師
			0
25・7・2 2	言葉の発達と支援 主催 東京都福祉保健局少子化社会対策部家庭支援課母子保健係		保育士
			0
25・7・2 6	平成25年度第1回栄養士連絡会 主催 国分寺市保育課		栄養士
			0
25・7・3 1	特別支援を必要とする子どもの理解 主催 都立小児総合医療センター		保育士
			0
25・8・1	子どもの健康づくり研修会 主催 NPO法人 日本幼児健康体育協会		保育士
			¥6,000
25・8・2	乳幼児期の保護者支援について 主催 東京都民間保育園協会		保育士
			¥3150
25・8・5	小学校との連携について 主催 国立保育会		保育士
			0
25・8・6	乳幼児期の子どもの発達 主催 子ども総合研究所		保育士
			¥10,000 (8月7日と併用)
25・8・6	理解を深める障害児保育 主催 国分寺市保育課		保育士
			0
25・8・7	幼児期の子どもの発達 主催 子ども総合研究所		保育士
			¥10,000 (8月27日と併用)

25・8・9	子どものアレルギー疾患に関する相談実務研修 主催 東京都健康安全研究センター		看護師
			0
25・8・21～22	これからの保育園・幼稚園はどうなるか 主催 子ども総合研究所		保育士
			0

研 修 参 加 記 録

25年度

年 月 日	研 修 テ ー マ	参加者氏名	職 種
			研修費用
2 5 ・ 8 ・ 2 4	特別支援教育連携関係職員研修会 主催 国分寺市立子どもの発達支援センターつくしんぼ		保育士
			0
2 5 ・ 8 ・ 2 6	保育中に起きた怪我・特にかみつき・ひっかきについて考える 主催 子ども総合研究所		保育士
			¥1,000 (8月27日と併用)
2 5 ・ 8 ・ 2 7	就学相談講習会 主催 東京都特別支援教育推進室		保育士
			0
2 5 ・ 8 ・ 2 7	発達障害児・親へのサポート 主催 子ども総合研究所		保育士
			¥10,000 (8月26日と併用)
2 5 ・ 9 ・ 9	国分寺市看護師職員連絡会 主催 国分寺市看護師会		看護師
			0
2 5 ・ 9 ・ 1 4	発達障害児の対応について 主催 国立保育会		保育士
			0
2 5 ・ 9 ・ 1 4	平成 25 年度第 3 回国立保育会看護師会 主催 国立保育会看護師会		看護師
			0
2 5 ・ 9 ・ 1 7	記録の書き方・活かし方 主催 国分寺市市役所		保育士
			0
2 5 ・ 1 0 ・ 3	災害対策講演会 主催 東京都立小児医療センター		栄養士
			0
2 5 ・ 1 0 ・ 7	保育要録研修会 主催 東京都民間保育園協会		保育士
			¥3,150

25・10・8	栄養管理講習会 主催 多摩立川保健所		栄養士
	0		
25・10・2 2	平成25年第2回給食担当者講習会 主催 東京都社会福祉協議会保育部会		栄養士
	0		
25・10・3 0～31	調理研修会 主催 東京都民間保育園協会		栄養士
	¥5,250× 2		
25・11・5	コミュニケーション・社会性の発達支援 主催 東京都立小児医療センター		保育士
	0		
25・11・8	保護者とのコミュニケーションの取り方 主催 国立保育会		栄養士
	0		
25・11・9	平成25年第4回看護師会 主催 国立保育会		看護師
	0		

研 修 参 加 記 録

25 年度

年 月 日	研 修 テ ー マ	参加者氏 名	職 種
			研修費用
25・11・1 1	平成 25 年度第 4 回看護職連絡会 主催 国分寺市看護師会		看護師
			0
25・11・1 8	子どもの心をひきつける読み聞かせ 主催 国分寺市保育課		保育士
			0
25・11・2 1	国分寺市看護職連絡会 主催 国分寺市看護師会		看護師
			0
25・11・2 1	栄養士連絡会 主催 国分寺市保育課		栄養士
			0
25・11・2 8	防災研修会 主催 東京臨海広域防災公園「そなエリア東京」		保育士
			¥3,150
25・12・1 0	平成 25 年度第 3 回給食担当者講習会 主催 東京都社会福祉協議会保育部会		栄養士
			0
26・1・6	国分寺市看護職連絡会 主催 国分寺看護師会		看護師
			0

26・1・9	平成 25 年度学校等におけるアレルギー疾患に対する 普及啓発講習会 主催 文部科学省		副園長
	0		
26・1・10	保育指針の取り組み方について 主催 国立保育会		保育士
	0		
26・1・8～ 10	保育所主任保育士研修会 主催 日本保育協会		保育士
	¥13,200		
26・1・11	平成 25 年度第 5 回看護師会 主催 国立保育会		看護師
	0		
26・1・14	平成 25 年度給食担当者講習会 主催 東京都社会福祉協議会保育部会		栄養士
	0		
26・1・15	サービス推進費補助・申請事務説明会 主催 東京都社会福祉協議会保育部会私立委員会		保育士
	0		
26・1・16	3 歳児の保育室は「ほら！みてみて！」の笑顔でい っぱい 主催 国分寺市保育課		保育士
	0		
26・1・22	子どもの事故予防 主催 東京都家庭支援課		保育士
	0		

研 修 参 加 記 録

25 年度

年 月 日	研 修 テ ー マ	参加者氏 名	職 種
			研修費用
26・1・2 7	保育所と小学校との連携 主催 東京都民間保育協会		園長
			¥3,150
26・2・5	平成 25 年度第 3 回栄養士連絡会 主催 国分寺市保育課		栄養士
			0
26・2・7	ディズニーの人材育成方法 主催 国立保育会		保育士・栄養士
			0
26・2・2			保育士

7	主催 東京都社会福祉協議会保育部		¥2,000
26・3・6 ～7	ペアレントサポート研修 主催 都立小児総合医療センター		保育士 0

⑤ 退職・福利厚生

- ・ 定年退職後、65歳まで継続雇用をする
希望者なし
- ・ 退職金等については速やかに適切に事務手続きを行う
- ・ 平成25年度の退職者
保育士 平野雪奈
看護師 松澤みどり
- ・ 職員への給食を実施、職員、児童への食育に努める
園児と同じ食事をし、食育に努めた
- ・ 職員の親睦と融和をはかる
食事会や忘年会、歓送迎会費の一部を援助した

2 施設管理

(ア) 事務関係

① 会計事務、管理事務

適切に事務処理をした

② 児童処遇事務（保育、給食、健康管理）

保育指導計画、給食献立、年間の健康診断予定等により、適切に実施した。
必要に応じて関係機関に報告書を提出した。

(イ) 設備関係

① 固定遊具の設備点検

- ・ 毎日点検し、記録した

② 調理室設備、空調関係、防犯防火関係等

設備点検 6/21

ガス点検 6/6

電気設備点検 5/14 7/10 9/10 11/12 1/14 3/28

消防設備点検 4/5 10/17

ダムエーター点検 4/1 6/13 8/2 10/1 12/2 2/3

学校 110 番点検 6/25 9/30 12/13 3/7
厨房設備点検 4/6
床暖房点検 10/26
1F エアコン清掃 5/18

③ 施設全体を常に点検し、修繕が必要と認められる箇所については、修繕を行う

【瑕疵担保分】

特になし

【追加工事分】

5/11 玄関靴箱修理
6/15 1F エアコン修理
6/28 園庭非常灯交換
6/29 樹木消毒
玄関鍵穴交換
7/26 1 階テラスのビス交換
8/4, 5 非常用熱探知器誤作動により取り外し交換
8/19 1 階男児用トイレ修理
9/20 調理室食洗機部品交換
10/9 金木犀消毒
10/11 平均台修理
10/21 ホール舞台カーテン修理
11/8 玄関インターホン修理
11/9 調理室回転釜修理
11/18 1 階モミの木ウッドデッキのコンセント修理
11/22 ホールオーディオ (CD デッキ修理)
12/26 調理室カウンターの窓修理
12/28~31 調理室床、壁修理
1/6 食洗器排水管補強
調理室蛇口 2 か所交換
1/20 玄関電子錠交換
1/22 調理室壁の補強工事
2/3 園庭水道蛇口交換
2/19 調理室水道の配管水漏れ修理
2/21 1 階廊下折り戸ドアのガラス修理
2/27 1 階廊下折り戸ドアのガラス飛散防止シート貼り
3/4 1 階廊下折り戸ドアのガラス鍵修理

(ウ) 備品関係

① 備品購入

病後児保育室看板を購入した
事務用品は必要に応じ随時購入した

② 保育用品購入

幼児用椅子のパイプ溶接部分が折れ合計 31 脚交換。
砂場抗菌砂入れかえ
乳児用プール・玩具・その他必要な保育材料等を随時購入した。

③ 給食用品購入

(エ) 災害対策

① 避難訓練 月 1 回実施した

② 防災設備の点検を委託した

③ 防災設備自主点検をし、記録した

④ 非常食料の備蓄

(全児童数 125 名＋全職員数 36 名) × 3 食 × 3 日分 毎月 1 回点検し、記録した。

施設機能強化推進費にて、避難用の大型テントを購入。

⑤ 防災、防犯訓練計画に沿って職員が連携出来るよう避難訓練記録を作成、職員会等で話しあった

3 地域支援、地域交流

① 地域交流、子育て支援

行事への参加、協力の呼びかけ 5 回

小学校との交流、連携 1 回 国分寺市立第 9 小学校見学と交流

子育て支援を積極的に行う

パートナー登録 116 名

育児相談 0 回

園庭開放 月 2 回実施

サークル活動支援 0 回

情報誌の発行 10 回

出前保育 6 回

保育所体験	6 回	26 人
保育実習	6 名	
職場体験	4 日	

② 児童虐待への対応

- ・職員全員が児童虐待への対応の基本を学ぶ

4. 病後児保育（補助事業）

病後児保育室の保育時間が 8：00 から 17：30 と長く、延長 1 時間を含めると 18：30 までの保育となるため、朝は在園児の健康管理をする看護師が受け入れをし、9：30 から病後児室の看護師に引き継ぐ

利用延べ人数 311 人

5. 延長保育事業

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
利用申請者数	36	29	30	30	30	32	30	30	30	29	29	29
1 時間												
2 時間	12	8	7	7	7	9	6	8	11	11	11	11

7. その他

ア 個人情報保護

個人情報管理規程に基づき、個人情報の取り扱い方を職員全員に周知徹底している

職員、非常勤職員については個人情報保護についての誓約書の提出が義務付けられている。職場体験の高校生はオリエンテーションのときに個人情報保護についての説明をした。

イ 苦情対応

苦情受付窓口を設置、ご意見、ご要望があった時はその都度対応し、掲示した。受け付けた苦情については、必要に応じてその経過をホームページで公

開している。

苦情対応責任者 園長

苦情対応担当者 主任保育士

第三者委員 2人

ウ 第三者評価

利用者アンケートを実施

株式会社 NPO法人ほいくORG8/26 契約書を取交

12/17 調査票の配布

2/7 調査票の結果報告日

2/12 調査検査報告書 調査対象者数 106名

有効回答者数 68名

利用者総数に対する回答者割合 64.2%

総合満足度調査 大変満足 29%

満足 34%

どちらともいえない 3%

不満足 2%

大変不満 0%

以上

平成 25 年度 事業報告

社会福祉法人 国立保育会
富士本保育園

富士本保育園 平成 25 年度事業報告

1. 施設運営

保育理念 「かけがえのない命をはぐくむ場」

- 家庭や地域社会との連携を図り、健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意する
- 養護と教育が一体となって、豊かな人間性を持った子どもを育成する
- 地域における子育て支援の役割を積極的に担っていく

保育の方針

『自分の命を守るというつよい心をはぐくむ』

『ともだちの命を守るというやさしい心をはぐくむ』

保育の目標

- ・健康な子ども
- ・思いやりのある子ども
- ・自分で考え行動できる子ども
- ・感情を表現できる子ども

2. クラス編成

クラス名	いちご	みかん	ぶどう	あおば	ひまわり	つばめ	合計
年齢	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	
定員	12 名	24 名	24 名	24 名	24 名	24 名	132 名
25 年度児童数	12 名	30 名	30 名	27 名	23 名	9 名	130 名
保育士 (加配保育士含む)	4 名	6 名	5 名	3 名	2 名	2 名	24 名 (加配保育士含む)

その他 非常勤職員（パートタイム）

●児童数報告

年齢	定員数	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
5 歳児	24 名	9	9	11	12	14	13	13	13	13	13	13	13
4 歳児	24 名	23	23	23	23	22	21	22	22	23	23	23	23
3 歳児	24 名	27	27	27	27	27	26	26	26	26	26	26	25
2 歳児	24 名	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	29	29
1 歳児	24 名	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	29
0 歳児	12 名	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
合計	132 名	131	131	133	134	135	133	133	133	134	134	133	131

月別保育予定日数と開所時間

開所時間 13 時間

月別保育日数

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	合計 294 日
25	24	25	26	26	23	
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
26	24	23	23	23	25	

●月別保育日数報告

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	合計 294 日
24	24	26	25	27	23	
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
26	24	24	23	23	25	

3. 保育

- 保育所保育指針に基づいて保育課程、指導計画を作成し、「子どもの最善の利益」を追求すべく、家庭と地域とでともに子育てをしていく。
- 平成 24 年度第三者評価利用者アンケートに基づき、業務改善計画書を作成し、保護者と保育園とが同じ方向を向いて保育をしていくということに全力を尽くす。

① 発達段階に合わせた目標

おおむね 6 か月未満

- ・安全な環境の中で過ごす。
- ・生理的欲求を満たす。

おおむね 6 か月から 1 歳 3 か月未満

- ・愛着関係を築く。
- ・思いや甘えを受け止めてもらいながら、情緒の安定を図る。

おおむね 1 歳 3 か月から 2 歳未満

- ・生活リズムを整える。
- ・自我の芽生えを受容してもらい、自分の気持ちを安心して表わす。

おおむね 2 歳

- ・自我を育て、模倣を楽しむ。
- ・身の回りのことを自分でしようとする。

おおむね 3 歳

- ・安心の中で、基本的な生活習慣を身につける。
- ・感情や表現を受け止めてもらいながら、自律の芽生えを育てる。

おおむね4歳

- ・自分の思いを出して、様々なものや人と関わり表現する。
- ・集団で活動することを楽しむ。

おおむね5歳

- ・仲間意識が育ち、自分の思いを表現しながら、友達の立場も考えるようになる。
- ・基本的生活習慣や態度を自分の意志や判断で進められ、身につける。

おおむね6歳

- ・仲間と協力し合い、目的を達成して喜び、自信を持つ。
- ・基本的生活習慣が自立する。

② 主な行事

- 4月 入園式 進級式 誕生会
5月 誕生会 ミニ遠足 保護者懇談会
6月 誕生会 保育参観・参加 災害時引き渡し訓練
7月 誕生会 プール開き
8月 誕生会 プール納め
9月 誕生会 敬老の日の集い
10月 誕生会 運動会 秋の遠足
11月 誕生会 七五三 勤労感謝の集い
12月 誕生会 クリスマス会 もちつき
1月 誕生会
2月 誕生会 節分・豆まき 保護者懇談会
3月 誕生会 ひなまつり会 新入園児面接 卒園遠足 お別れ会食会 卒園式

※発表会は、12月から2月の間に行なう。日程は会議で検討・決定する。

※個人面談、保育参観・参加は保護者の予定に合わせ、随時行なう。

◎年間行事報告

入園式 4月1日

日 付	行 事	日 付	行 事
4/24(水)	4月生まれ誕生会	11/18(月)	勤労感謝の日の集い
5/18(土)	全クラス保護者懇談会	11/28(木)	11月生まれ誕生会
5/24(金)	5月生まれ誕生会	12/13(金)	12月生まれ誕生会
6/3(月)～6/7(金)	保育参加・参観ウィーク	12/18(水)	クリスマス会
6/10(月)～6/14(金)			
6/17(月)～6/21(金)			
6/25(火)	6月生まれ誕生会	12/26(木)	もちつき
6/27(木)	災害時引き渡し訓練	1/16(木)	1月生まれ誕生会

7/11(木)	7月生まれ誕生会	1/25(土)	後期保護者懇談会
8/29(木)	8月生まれ誕生会	1/31(金)	発表会予行練習
9/25(水)	9月生まれ誕生会	2/3(月)	豆まき
10/12(土)	運動会	2/8(土)	発表会(雪のため2/23に延期)
10/29(火)	3歳児遠足 (窪東公園)	2/20(木)	2月生まれ誕生会
10/30(水)	10月生まれ誕生会	3/18(火)	お別れ会
11/1(金)	4・5歳児遠足(昭和記念公園)	3/29(土)	卒園式

◎体育指導報告

4 月	集団運動(挨拶、整列、いろいろなかげっこ)	4/12 4/19 4/26
5 月	鉄棒	5/10 5/17 5/24 5/31
6 月	跳び箱	6/7 6/14 6/21 6/28
7 月	プール	7/5 7/12 7/17 7/26
8 月	プール	8/2 8/9 8/16 8/23 8/30
9 月	ボール	9/6 9/20 9/27
10 月	ボール	10/11 10/18 10/25
11 月	鉄棒	11/1 11/8 11/22 11/29
12 月	ラケットテニス	12/6 12/13 12/20
1 月	跳び箱	1/10 1/17 1/24 1/31
2 月	ボール	2/7 2/14 2/21 2/28
3 月	ボール・まとめ	3/7 3/14

③栄養管理

基本業務

- 月曜日から土曜日までの食事の実施
- 毎月1回の食事会議・月2回の離乳食会議を行う
- 集団給食施設栄養報告を東京都多摩立川保健所に提出 5月・11月
- 栄養素の質・量のバランスを考え献立を作成、配布する。
- 離乳食については初期、中期、後期、完了期、移行食の個別対応を目指し、離乳食の献立を作成配布する。
- アレルギー児の対応については、医師の診断書に基づき適切に対応し、アレルギー食用献立を作成する。(資料参照:アレルギー児対応マニュアルに沿って除去食で対応する)
- 延長保育では、一時間延長児には夕食にひびかない程度のおやつを、二時間延長児には軽食を実施する
- 給食供給者としての諸管理行う
- 年間食育計画に沿って園児及び職員への食育指導を行う。
- 食育の観点から、年齢に応じた調理保育を計画し実践する
- 職員の給食を実施し、職員、児童への食育に努める

付帯業務

- 食事の展示
- おやつは手作りを基本とする。
- 季節の素材を積極的に取り入れ嗜好に富んだ献立を作成する。
- 誕生会のおやつ、会食会や行事食を行ない、食事を楽しめる工夫をする。
- ミニ遠足に園で用意した弁当を持って行き、戸外での食事を楽しめるよう実施する。
- 食育の観点から野菜栽培を行い、栄養価を学ぶ。

栄養管理報告

- 衛生面に考慮しながら、月曜日から土曜日までの食事の提供をおこないました。
- 毎月給食会議を実施し、クラスの状況把握と、献立や食育活動についての報告等をおこないました。
離乳食会議は月2回実施し、子ども達の発達を考慮しながら食事内容を進めていきました。
- 5月・11月分の集団給食栄養報告書を保健所に提出しました。
- 子ども達の身体状況に合った食事摂取基準量を算出し、必要量を満たした献立を作成しました。
献立は毎月保護者に配布しました。
- 離乳食は、クラス担任と十分に話し合いながら、一人ひとりの子どもの発達に合わせた食事の提供をおこないました。
- 食物アレルギーは、医師の指示書の下に保護者とよく話し合い、アレルギー児の状況に合わせた除去・代替食を提供しました。
- 延長保育では、補食・軽食に合った内容で適切に提供できました。
- 給食管理・衛生管理・栄養書類作成等の業務を実施しました。
- 食育は、各年齢での発達に配慮した食育計画を作成し、それに沿って計画通りに実施しました。
- 会食や行事食など、その目的や季節に合った食事を提供し、楽しんで食事が出来るような工夫をおこないました。
- 食事の展示をおこない、幼児クラスには写真での掲示もおこなった。また、食材の産地を日々明確にし、保護者にむけてお知らせしました。

・年間食育活動報告

5/10	(つばめ・ひまわり組)	そら豆の皮むき
5/16	(あおば組)	野菜の苗植え <ラディッシュ、ミニトマト>
5/16	(つばめ組)	野菜の苗植え <枝豆、いんげん>
5/21	(ひまわり組)	野菜の苗植え <なす、小松菜>
5/24	(あおば組)	そら豆の皮むき
6/19	(ひまわり組)	食事のマナーについて
7/9	(つばめ・ひまわり組)	トウモロコシの皮むき
7/23	(あおば組)	トウモロコシの皮むき
9/11	(つばめ組)	さんまの骨取り
9/18	(つばめ組)	お月見の話しと白玉団子作り
10/28	(ひまわり組)	お米の話しとおにぎり作り

11/25	(つばめ組)	三色食品群についての栄養指導
12/17	(あおば組)	クッキー作り
12/26	(全園児)	もちつき
1/7	(つばめ組)	お正月の行事食について
1/9	(つばめ組)	鏡餅の話と鏡開き
2/18	(ひまわり組)	茶巾かぼちゃ作り
2/21	(ぶどう組)	柑橘類のはなし
2/26	(あおば組)	冬の野菜と果物について
3/5	(つばめ組)	いちごの話しとジャム作り
3/18	(幼児クラス)	お別れ会食

③ 健康管理

学校保健法に基づき、園児の健康状態を把握し、園として適切な健康管理を行い、個々の病気の早期発見、園医や医療機関との連携、病気の予防に努める。また、環境衛生のマニュアルなどを整理し、積極的に園児の健康を進める。

年間計画

検査内容	対 象	検査日	報告方法
内科健診	1才児以上 0才児	年2回(4月・10月) 毎月1回	健康カード記載
歯科検診	全園児	年1回	検査日に検査票を配布 健康カード記載
ぎょう虫検査	全園児	年1回(5月) 陽性者は再検査	検査結果保護者に報告 健康カード記載
尿検査	幼 児	年1回(5月)	検査結果保護者に報告 健康カード記載
視力検査	幼 児	年1回(11月)	健康カード記載
身体測定	全園児	毎月1回	健康カード記載

● その他

- ・ 歯磨き指導(看護師) 幼児 6月・10月 2歳・1月
- ・ 手洗い指導(看護師) 年2回
- ・ 布団乾燥(業者委託) 月2回

健康管理報告

■健康診断												
	平成25年									平成26年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	24日	29日	26日	24日	28日	25日	30日	27日	18日	29日	26日	26日
1~5歳児	24日						30日					

■身体測定												
	平成 25 年									平成 26 年		
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
0 歳児	15 日	10 日	11 日	10 日	5 日	9 日	1 日	8 日	2 日	14 日	17 日	14 日
1 歳児	15 日	10 日	12 日	16 日	8 日	11 日	2 日	7.8 日	9 日	14 日	17 日	19 日
2 歳児	16 日	9 日	13 日	10 日	9 日	13 日	4 日	11 日	5 日	16 日	18 日	17 日
3 歳児	16 日	9 日	10 日	17 日	6 日	10 日	3 日	6 日	3 日	15 日	19 日	11 日
4 歳児	17 日	13 日	10 日	17 日	6 日	10 日	3 日	6 日	3 日	15 日	19 日	11 日
5 歳児	17 日	13 日	10 日	17 日	6 日	10 日	3 日	6 日	3 日	15 日	19 日	11 日

■視力検査												
4、5 歳児	10 月 17 日実施											
■歯科健診（全園児）	11 月 14 日実施											
■手洗い指導	2 歳	11 月 6 日	3 歳	11 月 12 日	4 歳	11 月 13 日	実施					
■ブラッシング指導	3 歳	6 月 10 日実施										
■蟯虫検査	5 月 7 日											
■尿検査	5 月 7 日											
■嘔吐処理デモ	7 月 30, 31 日実施											
■救急講習	8 月 31 日, 9 月 7 日実施											
■エピペン講習	9 月 25 日	Dr. 久保嶋とファイザーによる講習										
■エピペン講習	都立小児医療センターにて					10 月 23 日, 11 月 20 日, 12 月 11 日						

			H25年度保健業務の反省と今後の課題
I 期 (4・5月)			・春の全園児健診、0歳児健診 実施前に既往の確認をし、園医に診断を依頼した。特に異常は見つからなかった。 0歳児に関しては、毎月園医に聴診・視診を依頼している。 ・蟯虫検査、尿検査 蟯虫検査、尿検査は事前に保護者への通知を行ったが、ゴールデンウィーク明けすぐの回収で、全員提出までに時間を要した。 蟯虫、尿検査ともに、全員陰性だった。 ・身体測定 健康カードに記入し、全家庭に配布した。 予防接種の記録も適宜家庭でして頂き、把握に努めた。 ・砂場の掘り起し、日干しを開始。 1回/2週の割合で30CM程の掘り起しを行い、砂場の衛生管理に努めた。
II 期 (6・7・8月)			・プールの水質管理 7月のプール開始前に、水質管理(主に塩素)についての方法を職員へ伝え、マニュアルを作った。 プール日誌を作成し、各クラスに記録してもらった。 塩素投入・計測時間、プール入水時間を取り決めてアクアチェックを行った。 塩素濃度の維持に関しては、保健所の規定通りに行った。 ・夏の感染症について 6月上旬から手足口病の流行がはじまり、0歳児…12名 1歳児…25名 2歳児…21名 5歳児1名感染が確認された。保護者には早期より通知を行い、受診と休養のお願いをした。
III 期 (10・11・12月)			・4、5歳児対象視力検査 10月17日にほぼ全員行った。異常はみられなかった。 ・秋の全園児健診 特に異常は見られず、スムーズに行えた。 ・歯科健診 全園児対象に行ったが、2歳2名(30名中)、3歳5名(26名中)、4歳5名(22名中)、5歳5名(13名中) と虫歯の割合が比較的高かった。 ・感染症対策 2、3、4歳児対象に手洗い指導を行い、感染予防に努めた。 また、児童のノロウイルス感染疑いの報告を受け、マニュアル作成を行った。 室内の温度・湿度・換気チェックを行い、環境整備に努めた。 職員にインフルエンザの予防接種をする様、呼びかけを行った。
IV 期 (1、2、3月)			・インフルエンザの流行について 1月下旬から2月上旬にかけてインフルエンザA型の感染あり。0歳児…4名 1歳児…6名 2歳児…3名 3歳児…2名 4歳児…6名 5歳児…3名 職員…5名 保育中に体温上昇みられた場合は、事務室ベッドで休みお迎えをお願いした。 ・うがい指導 2月12日2歳児クラスにて、ガラガラうがいの指導と実施した。

④ 安全管理

- 職員は毎日の保育で、子どもの動きの把握や保育士の立ち位置などを考え、生命を守る。
- 安全管理チェック表にて遊具、用具、園舎等の安全管理を確認していく
- 地域公園、園周辺道路の危険マップを作成し、保護者に周知し、危機管理対策に努める。

年間計画

交通安全指導教育	年 1 回	
非常災害時の避難訓練	月 1 回	危機管理マニュアル参照
災害時引き渡し訓練	年 1 回 (6 月)	危機管理マニュアル参照
不審者対応訓練	年 2 回 (7 月・1 月)	危機管理マニュアル参照

年間計画結果

避難訓練	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	4/24	5/24	6/27	7/29	8/24	9/30	10/31	11/18	12/27	1/23	2/28	3/25

不審者訓練 平成 26 年 1 月 31 日、2 月 25 日

⑤ 職員の処遇

【職員構成】

園 長	1 名
副 園 長	1 名
主任保育士	1 名
副主任保育士	1 名
保 育 士	25 名
調 理 員 管理栄養士	1 名・栄養士 2 名・調理師 1 名
看 護 師	1 名
嘱 託 医（非常勤）	1 名
用 務 員（非常勤）	2 名
非常勤保育士（パート）	16 名

◎保育士は施設長はじめ、全員有資格者とする。

【健康管理】

- 生活習慣病健診または人間ドックを全職員年 1 回受診する（社会保険健診センター）
- 腸内細菌検査及び 0-157 潜在検査を全職員月 1 回行う（立川臨床医学研究所）
- インフルエンザ予防接種（希望者）

健康管理報告

- 該当全職員が健康診断を受けました。
- 平成 25 年度細菌検査、回収日。
4 月 9 日・5 月 7 日・6 月 4 日・7 月 9 日・8 月 6 日・9 月 3 日・10 月 8 日
11 月 5 日・12 月 3 日 平成 26 年 1 月 7 日・2 月 4 日・3 月 4 日
- インフルエンザ予防接種を受けた職員数
平成 25 年度は、18 名に至りました。。

【職員会議】

- | | | | |
|---------|-------|--------|-------|
| ・運営会議 | 月 1 回 | ・栄養士会議 | 随時 |
| ・定例会 | 月 1 回 | ・看護師会議 | 随時 |
| ・給食会議 | 月 1 回 | ・離乳食会議 | 月 2 回 |
| ・リーダー会議 | 週 1 回 | | |
| ・チーム会議 | 随時 | ・行事事務 | 随時 |

平成 25 年

平成 26 年

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
運営会議												
定例会	24	24	25	17	28	25	22	25				
チーム会議	毎週水曜日											
離乳食会議	17	1・15	4・18	10・26	16	6	8・29	12	9	22		
給食食会議	30	21	21	24	28	24	23	27	17	27	21	26
主任会議	12	10	10	12		13	11	8	13	10	14	14
市内看護師会議		13		1		9		11		1		3
4園看護師会		11		13		14		9		11		8

リーダー会議 4/4. 18. 25 5/2. 9. 16. 23. 30. 6/6. 13. 20. 27 7/4. 11. 17. 25. 8/1. 8. 22. 31 9/5. 12. 19. 26

10/3. 10. 17. 24. 31 11/7. 14. 21. 28 12/4. 12. 19. 26 1/9. 16. 23. 30 2/6. 13. 20. 27

3/4. 13. 20. 27

【自己評価】

- 保育所保育指針に基づき、職員の自己評価を実施し、業務の振り返りと改善を行なう。

園長：主任 副主任 管理栄養士 栄養士 調理師 看護師

主任および副主任：保育士（週に 1 回面談を行なう）

年度初めなど定期的に面談を行ない、目標の進捗具合の確認をする。

【自己申告制度】

- 常勤職員の申告に基づき、その特性および意向を把握し、職員に対する指導や配置、法人内他保育園への異動などの参考にする。適切な能力策の実施や人事管理を行ない、職務能率の増進を図る。自己申告書提出の後、園長との面談を実施する。

【研修計画】

職種	内容
園長	職場の問題解決を目的とする研修
副園長	種別団体等の研修会への参加 管理者養成研修
指導的職員	問題解決、研究的テーマの学習 職場間の交流研修 指導者養成研修 甲種防火、防犯管理者講習

中堅職員（経験年数 7 年以上）	実践的な問題解決能力を高める研修 最新の知識、技術を修得する 職場間の交流研修
中堅職員（経験年数 3 ～ 6 年まで）	専門性の基礎づくりを行う 実践的、具体的テーマでの学習
新任職員（経験年数 1 年～ 2 年パートを含む）	主任、副主任、リーダーによる指導 基礎的な知識、技術を学ぶ 新人研修
職員全体	消防署による消火訓練 消防署による救命救急講習

※園内研修は随時おこなう。

個別指導計画については、別紙参照とします。

【退職、福利厚生】

- 職員の親睦はかり、融和をはかり、助成する。（歓送迎会、忘年会）
- 退職金等については速やかに適切に事務手続きを行う
- 職員の親睦と調和をはかり、業務を円滑に進める

歓迎会・送別会を始め、適切に利用し、処理を行なった。

4. 施設管理

（ア）事務関係

① 会計事務・管理事務

- ・予算計画書に応じて事務処理を行う

適切に事務処理を行なった。

② 児童処遇事務（保育・食事・健康管理）

- ・保育カリキュラム、献立予定表、年間の健康診断予定等により適切に行う

計画に基づき、適切に実施し、必要に応じて各関係機関に報告をしました。

（イ）設備関係

① 園庭環境設備の検討

- ・園庭芝生のメンテナンスをする。

肥料、水撒きなど適切に行ってきたが、冬場に全面枯れてしまい、3月から養生しました。

② 園内トイレの扉設置

- ・指導検査の助言に基づき、幼児クラス、2歳児の一部のトイレに扉を設置する。

助言通りに幼児クラスのトイレに扉を設置した。2歳児はトイレ出入り口扉を閉めて見えないように運用しました。

③ 固定遊具の導入

- ・芝生の様子により、乳児向けの可動式遊具を園庭に設置する。

検討したものの適切な遊具が見つからず、購入は見送りました。

④ 調理室設備・空調関係・防犯防火関係等

- ・定期的に検査、点検が必要な物は業者に委託する。

(消火器、火災報知機、換気扇、エアコン、床暖房、電気関係、ガス関係)

計画に基づき、適切に実施し、必要に応じて各関係機関に報告をしました。

⑤ 施設全体を常に点検し、修繕が必要と認められる箇所については修繕を行う。

- ・特に保育室床面に関しては、異常があった場合直ちに修繕をおこなう。

- ・隣家からの要望で隣接する壁に目隠しを設置しました。
- ・床面は5月、2歳児と1歳児で一か所床の盛り上がりがあり、一部分張り替えを行なったが、その後は全体でも異常は見られません。

(ウ) 備品関係

- ① 事務用品
- ② 保育用品
- ③ 給食用品

定員増加に必要なものを調達する。

適宜調達し、揃えた。

④ 工事予定

- ・2階テラスに雨除け用のオーニングの設置

予算の都合上延期した。

- ・園庭の民家との境にネットの設置(ボールが窓に当たるため)

設置に向けて小林工務店に調べていただいたが、支柱が安全に立てられずに断念しました。

(エ) 災害対策

- ① 避難訓練 毎月1回

- ② 防犯設備の点検委託(千代田防災に委託。年2回 9月 3月)

- ③ 防災設備自主点検 毎月1回

- ④ 非常食料の備蓄

- 災害協定締結や定員増加により、非常食料の増加と保管場所(園庭に備蓄倉庫)の確保をする。

- ⑤ 防災、防犯訓練計画に沿って職員が連携できるように会議で話し合う。

防災計画に沿って、訓練・記録をし、消防署との連携も行ないました。

5. 地域社会との連携

- 地域交流・子育て支援

- ・パートナー登録
- ・園庭開放
- ・情報誌の発行
- ・出前保育

- 地域のお年寄りとの交流

- ・敬老の日の集いに参加を呼び掛ける。

ご近所の方が5名来園していただき、地域の方と在園児との交流の場となった。

- 国分寺市立第2小学校との連携

- ・学校訪問 ・保育所保育要録の提供

1/31 に国分寺市立第二小学校に5歳児13名が訪問させていただいた。

特別な配慮を必要とされる子どもについて園長、担任で2回の訪問、国分寺市立第二小学校の教員が園に訪問していただくなど連携が取れました。

- 児童虐待への対応

- ・国分寺市子ども家庭支援センター、児童相談所と連携して、適切に対応していく
(参照：虐待防止マニュアル)
- ・職員全員が児童虐待への対応の基本を学ぶ
- ・早期発見の重要性を周知する。

母親と子どもの悲鳴が聞こえたと、通りかかったご近所の方から園に通報がありました。子ども家庭支援センター連携を取り、家庭訪問や保護者面談を行なって現在も観察をしています。

6. 延長保育事業

18:00～18:40 2500 円 18:00～19:00 3500 円

18:00～19:20 4500 円 18:00～19:40 5500 円 18:00～20:00 6500 円

1 時間延長 18:00～19:00 満1歳以上

2 時間延長 18:00～20:00 満2才以上

延長保育報告

◎月別利用日数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
利用日数	452	497	512	635	532	533	607	608	530	530	555	654

7. その他

① 個人情報保護

- ・個人情報管理規定に基づき、個人の情報の取り扱いを職員全員に周知徹底する
- ・非常勤職員、実習生、ボランティアも対象とする
- ・職員（非常勤も含む）は誓約書を提出

・個人情報管理規程に基づき、個人情報の取り扱い方を職員全員に周知徹底しました。
・平成 25 年 6 月は国分寺市役所の出前講座を利用して、個人情報保護の研修を行ないました。

② 苦情対応

- ・苦情受付窓口を設置、保護者からの意見、提言に耳を傾け、保育に反映させていく
- ・苦情対応責任者 園長
- ・苦情対応担当者 主任
- ・第三者委員 2 名
- ・入園説明会にて個別に説明し、ご意見ご要望 BOX を設置し用紙と筆記用具を設置する。
なお、苦情については対応を速やかに掲示し、必要に応じてホームページで公開する

苦情、ご意見・ご要望などは、事案ごとにチーム会議、リーダー会議、職員会議にて検討し、
掲示にて、全保護者に周知をおこないました。

③ 第三者評価

- ・第三者評価を受審した結果を分析し、保育の質の向上に努める
- ・今年度も利用者アンケート、第三者評価緒を受審する

・第三者評価、利用者アンケートを 10 月に配付、12 月に訪問調査を実施しました。
利用者総数(世帯)125 有効回答数(世帯)74 利用者総数に対する回答者割合 59.2%
大変満足+満足 86.5%

8. 業務改善計画

業務改善計画書に基づき、以下の取り組みを行なう。

1. 平成 26 年度の利用者アンケートにおける総合満足度 100%を目指す。
2. 職務分担を適切に実行することにより、保育の充実と職員の育成を図る。
3. 3 年目になる発達支援室担当者連絡会の充実と、職員の知識・工場をめざす。

以上

富士本保育園 平成 25 年度事業報告 総評

福祉サービス第三者評価の利用者アンケートにおいて、利用者満足度が平成 24 年度は 86.5%でした。開園二年目となった平成 25 年度は、初年度の結果から反省をし、業務改善計画として、改善に取り組みました。保護者とともに子育てを担う保育園としては、保護者に満足し、信頼していただいてこそ、保育園での保育が児童にとって最善の利益となると考えているからです。本年度取り組んだ業務改善計画書と結果については前回の運営会議でご報告をさせていただきましたが、利用者満足度は平成 25 年度も 86.5%と初年度と変わらない結果となりました。改善計画書に沿って改善に取り組んで参りましたが、結果が伴わなかったことを職員と振り返る場を設けました。要因としては、人員不足により改善計画のほとんどが実行途中で終わっていたこと、取り組んだもののアピールの仕方が足りず、保護者に伝えきれなかったことと考えました。平成 26 年度は人員不足も解消していただきましたので、平成 25 年度の改善計画のできていない点に更に改善策を足し、徹底的に取り組んでいくことを共有し、確認しました。

しょうがい児保育については、自治体から発達しょうがいと認定を受けた児童 5 名の保育を実施しました。該当児童が保育園生活に困らないよう、担当者と保護者の面談を定期的に行ない、家庭での取り組みや園での取り組みを共有しました。なかなか耳を傾けていただけない保護者もいましたが、小児科医の篠崎昌子先生、国分寺市の巡回相談に携わっている心理相談員の山下洋子先生にアドバイスをいただきながら、根気よく保護者との面談を重ねてきました。そのことと、発達支援室担当者連絡会の参加と該当児童が通所している施設を担当保育士が訪問させていただくことで、保育士の知識や技術の向上につなげていくことができました。

職員の去就については、年度を通して常勤保育士が確保できず、体調を崩す職員が出てしまいました。平成 26 年度は職員の確保もできましたので、保育士が安心して就労できる環境づくりをさらに整えていきます。自己評価に掲げた指導職と保育士の個別面談ですが、年度の途中で副主任はクラス担任に、主任は他の準備によって全員を実行することはできませんでした。平成 26 年度はすでに主任・副主任による保育士の個別面談、園長による栄養士、調理師、看護師の個別面談が始まりましたので、職員自己管理目標シートに基づいて、職員が事故の目標を達成できるように指導して参ります。

平成 25 年度は、開設 2 年目で初めて職員同士が支えあいながら職務を遂行できたことを感じられた年となりました。また、「かけがえのない命を育む場」として、保護者と職員が同じ方向を見て保育をすることをモットーに、「子どもの最善の利益」を追求するということについては、概ね達成できたと自己評価します。